

稲葉克夫さん死去

88歳 陸羯南研究、東奥賞



携わった。

特に弘前出身の陸羯南の研究に情熱を傾け、2007年に評伝「陸羯南の津軽」を出版。08年には発起人の1人として「陸羯南会」（弘前市）の設立に関わり、東京の陸羯南研究会と連携した研究体制を整えた。

ほかに「青森県近代史の群像」「八戸の安藤昌益」などの著書がある。

1976年から24年間、県文化財保護審議会委員を務め、2006年には県文化賞、12年に第65回東奥賞を受賞した。

明治期の言論人・陸羯南の研究で知られ、東奥賞受賞者の郷土史研究家・稲葉克夫さんが5日午前10時55分、弘前市の病院で病気のため死去した。88歳。自宅は弘前市桜ヶ丘2の5の5。通夜は9日午後6時から、葬儀は10日午後1時から、ともに同市南城西2の11の3、南城西公益セレモニーホールで。喪主は長男寛夫（ひろお）氏。

田舎館村出身。弘前大教育学部を経て立命館大学院で日本史を学んだ。1962年から県内各地の中学・高校で教壇に立つ傍ら、郷土史研究に打ち込んだ。

歴史の谷間に埋もれた本県ゆかりの人々の営みを掘り起こすため、各地を回り人々の声を集めることにこだわった。古里の田舎館村をはじめ、弘前市や八戸市、黒石市、旧浪岡町などの市町村史（誌）の編さんにも